図書委員会の生徒が、セット本の展示と広報に取り組みました

東京学芸大学附属世田谷中学校

利用セット「中南米セット 中学校向」 利用時期 平成 24 年 5 月 25 日~7 月 13 日



東京学芸大学附属世田谷中学校の学校司書 村上先生に伺いました。

Q.図書委員会でセットの活用に取り組まれたとのことでしたが、どのような活動をされたのですか? A.国際子ども図書館の本は、貸出ができないというルールなので、見るのは図書館内だけになります。



どのように活用するかを図書委員会で話し合い、まずは6月の 委員会で、図書委員24名がそれぞれ、好きな本の POP を描い て(左写真)、本と一緒に展示しました。

7月の委員会では、選んだ本の中からクイズを一人1問つくり、 再び本と一緒に展示しました。学期末で、あわただしい時期でも あったので、参加者多数・・・とまではいきませんでしたが、クイ

ズに答えるために、本を開いてあちこち読んでいる姿が見受けられました。

Q.広報では、どんな工夫をされましたか?

A.終業式に発行した図書館の広報紙に、この図書委員の企画の話と、国際子ども図書館についての短い情報、そして、たまたま南米チリに4年間住んでいたという保護者にインタビューした記事を掲載しました。

また、東京学芸大学の学校図書館運営専門委員会では、「先生のための授業に役立つ学校図書館活

用データベース」※というサイトを作っています。今回 の活用事例を、そのサイトの中の「学校図書館トピッ クス」コーナーで報告しました。

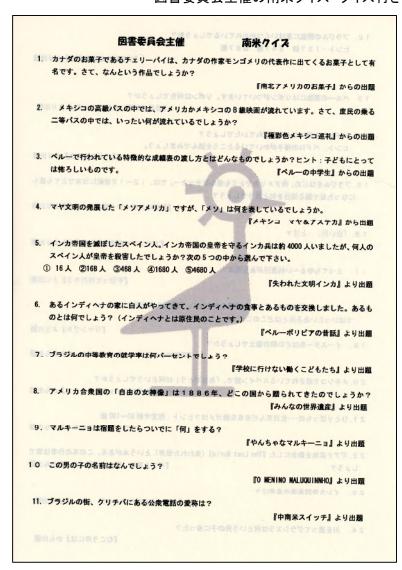
Xhttp://www.u-gakugei.ac.jp/~schoolib/htdocs/

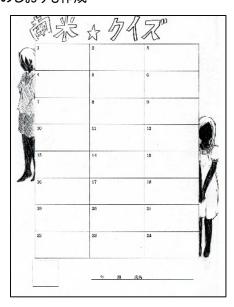




中学校の図書委員会活動と連動する形でセットをご活用いただきました。 ご利用ありがとうございました! 国際子ども図書館担当より

図書委員会主催の南米クイズ クイズ付きのしおりも作成







図書委員会の生徒が作成した POP



